

第54期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



日本のすべての屋根に防災瓦を

株式会社 鶴 弥

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第54期第2四半期(2020年4月1日～2020年9月30日)のご報告を申し上げます。

〈経営理念〉

強く美しく、いやすく、取扱
値打ちで、より安全な、いやすく、屋根材を提供する。



代表取締役社長 鶴見 哲

経営に関するQ&A

◆鶴弥の現状と今後の課題、その対策についてお聞かせ下さい。

2021年3月期第2四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境としましては、新型コロナウイルス感染症の流行拡大、およびその対策としての緊急事態宣言等によって、国内外において経済活動の停滞が発生し、直近では一部の国や地域においてその再拡大が懸念されるなど先行きの不透明感が強くなってきております。

国内の住宅市場においては、緊急事態宣言下の経済活動の自粛影響に加え、雇用や所得環境といった景気後退懸念から、前年度を大きく下回る水準で推移しており、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社においては感染防止策を徹底する一方で、コスト削減や歩留り向上、需要に見合った生産活動の推進といった、ものづくり企業としての基本に立ち返った施策を着実に実行してまいりました。この結果、売上総利益率は前年同四半期と同水準を維持し、財務体質についても堅調に推移しております。しかしながら、売上高減少の影響が大きく利益自体は減益となったことに加え、前例のない環境下、今後も需要動向が不安定になることが予想されることから、一層の企業努力を積み重ねる必要があると認識しております。また、この機を販売及び財務体質の両面において他社との差別化を図る契機と捉え、2021年3月期を最終年度とする中期経営計画(2019年3月期～2021年3月期)の3年目として、「わくわくする げんきな会社」をビジョンとして、会社全体で高いモチベーションを持って、新事業の育成、新製品の開発、生産活動の抜本的な見直し、従業員の意識向上、財務体質の一層の改善を進めてまいります。

また、このような予測困難な状況であるからこそ、長期的な視点を持った企業経営に邁進し、品質向上、研究開発活動や生産性向上等を目的とした先行投資を継続的に行ってまいります。

◆持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてお聞かせ下さい。

現在、地球規模の持続可能性について世界的に危機意識の共有が進む中、企業は事業活動そのものを通じて、社会、経済、環境といった多様な側面の課題解決を図るべきであるという考え方から、特に「持続可能な社会の実現に向けた企業の取り組み」に注目が集まっております。

・事業活動を通じた取り組みについて

当社は、国民生活の基盤である「住まい」に関わる企業として、安全・安心な製品を皆様にお届けし、その結果として、この日本の文化的景観を守り、「住文化」そのものに貢献することが最も重要な社会的責任であり、事業活動そのものを通じた基本的な取り組みであると考えております。

・感染症予防への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症をはじめ、住まいやオフィス、公共施設等においては、感染症予防が大きな課題となっており、当社においては、可視光・暗視野対応の抗菌性光触媒で、昼でも夜でも抗菌・抗ウイルス効果(細菌不活性化99.99%・ウイルス不活性化92%)を発揮する高機能製品「陶板壁材『スーパートライWall』可視光対応 光触媒シリーズ」をラインナップに追加し、人々が安心して過ごすことのできる生活空間を提供しております。(光触媒工業会の認証製品登録:2020-0001可視光-抗菌)

・地震・台風といった災害に対する取り組みについて

当社の主力製品「スーパートライ110シリーズ」は、各種性能試験や実際の災害でその効果を発揮してきた「防災瓦」であります。当社は、継続してこの防災瓦の啓蒙、普及活動を進めることが、災害に強い安全・安心な日本の住文化形成に対する当社の取り組みであると考えており、今後も、「日本のすべての屋根に防災瓦を」をキーワードに、一層の営業活動強化、認知度向上を図ってまいります。

・環境への取り組みについて

粘土瓦製造業は、天然素材の粘土や釉薬を主原料とし、元来自然環境との関係性が深い業種であります。よって、当社は、環境対策を進めることが企業としての重要な社会的責任のひとつであると考え、従来から、生産活動における省エネ推進等の環境負荷の低減を行ってまいりました。

また、一方で製品開発活動においても環境対策を重要なテーマとしていることに加え、製品の梱包資材や運搬用のパレットにおいても、省資源化やリサイクルを推進しております。

今後も当社は、事業活動そのものの環境負荷の低減を図るとともに、環境面に配慮した製品開発とその普及に努めることで、環境に対する取り組みを継続してまいります。



陶板壁材 施工例



瓦運搬用の木製パレット社内修理

トピックス

1日中細菌やウイルスを抑制する陶板壁材「スーパートライWall」 可視光対応 光触媒シリーズ製品についての詳細や最新情報をご紹介します。

不特定多数の方が利用する様々な場所で、
抗菌・抗ウイルス効果が期待されます。



医療・福祉施設



空港・駅



学校



トイレ



業界初

内装壁

昼夜を問わず1日中効果が持続

光触媒の多くは紫外線を受けて活躍しますが、可視光対応 光触媒シリーズは、家の中の室内灯で効果を発揮します。さらに、夜間の暗闇でも光触媒に含む抗菌金属の働きで抗菌・抗ウイルス効果が持続します。



500lx光照射8時間後
暗視野8時間後

長寿命

陶板壁材ならではの長寿命効果

光触媒を自社の特殊技術でコーティングしているため、長期間にわたり安定した効果が期待されます。また、水拭き等の日常的な清掃作業を想定した摩耗試験でも表面に光触媒が残っている事が確認されています。



効果長期間持続

高性能

光触媒工業会の認証製品

光触媒は、当社工場の自動ラインで均一に塗布されるため安定した効果が認められ、光触媒工業会が、性能、安全性が適切であることを認めた光触媒製品に与えるPIAJ認証マークを取得しています。(登録:2020-0001可視光-抗菌)



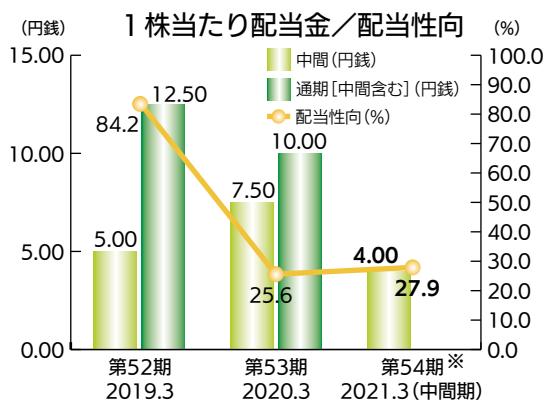
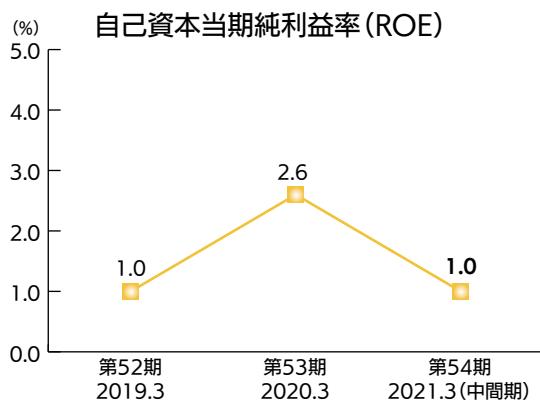
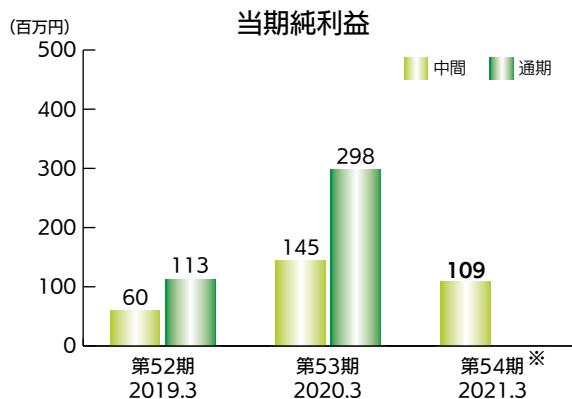
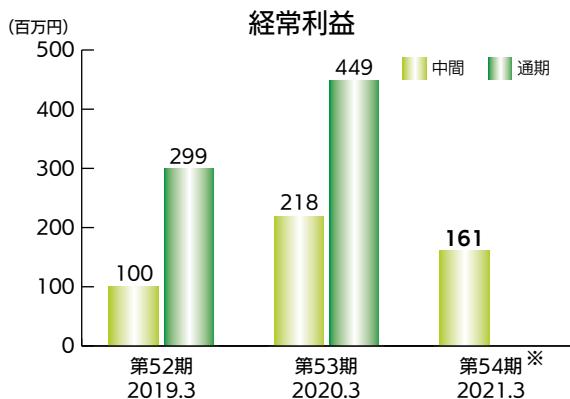
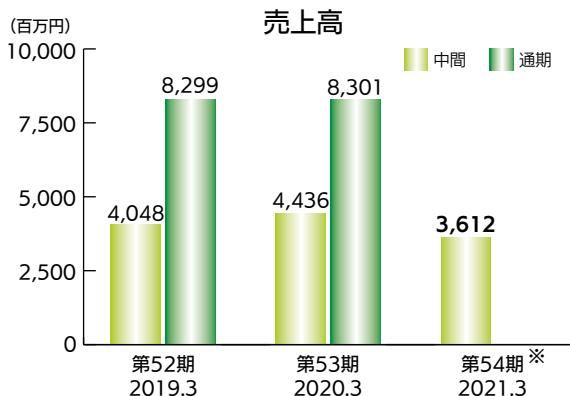
YouTubにて、本件の説明動画も配信しております。
ぜひご覧ください。



スーパートライWall



財務ハイライト



※第54期の売上高・経常利益・当期純利益・期末配当の通期予想は未定としております。

財務諸表

決算短信などの詳細情報は

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
流動資産	4,390,508	4,014,460
固定資産	11,426,104	11,350,327
資産	15,816,613	15,364,787
負債	4,451,323	3,894,757
純資産	11,365,289	11,470,030

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月 1日) (至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月 1日) (至 2020年9月30日)
売上高	4,436,296	3,612,189
売上総利益	1,191,991	968,744
販売費及び一般管理費	979,820	816,667
営業利益	212,171	152,077
経常利益	218,957	161,834
税引前四半期純利益	218,957	161,834
四半期純利益	145,142	109,704

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月 1日) (至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月 1日) (至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,442	69,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,568	△ 16,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 358,527	△ 71,434
現金及び現金同等物の増減額	△ 225,516	△ 18,094
現金及び現金同等物の期首残高	1,802,270	1,592,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,576,754	1,574,895

株式の状況 (2020年9月30日現在)

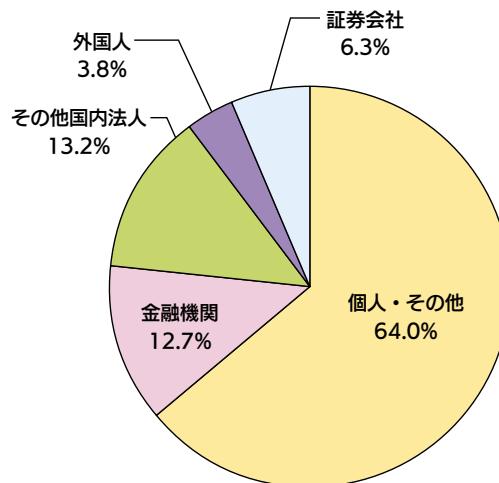
発行可能株式総数 25,000,000 株
 発行済株式の総数 7,767,800 株 (自己株式112,916株を含む。)
 株主数 2,343 名

大株主(上位11名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
鶴見哲	1,551	20.2
有限会社トライ	595	7.7
株式会社三菱UFJ銀行	308	4.0
株式会社商工組合中央金庫	308	4.0
遠山和子	270	3.5
南條宏	200	2.6
株式会社ライブスター証券	181	2.3
株式会社石川時鐵工所	135	1.7
鶴見日出雄	132	1.7
岡崎信用金庫	132	1.7
細井芳美	132	1.7

(注)持株比率は、自己株式(112,916株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社 鶴弥

TSURUYA CO., LTD.

設立 1968年2月

事業内容

1. 粘土瓦の製造および販売
2. 屋根工事の請負および施工
3. 陶板壁材の製造および販売
4. 建築資材の開発および販売
5. 金型の設計、製作、加工、保守および販売
6. 前各号に付帯関連する一切の事業

資本金 21億4,413万円

従業員数 393名

役員

代表取締役社長 鶴見 哲
取締役 三井 真司
取締役 満田 勝己
取締役 角森 一夫
取締役 根崎 尚樹
取締役 高垣 俊壽
常勤監査役 稲田 康孝
監査役 鶴見 秀夫
監査役 高須 光

(注1) 取締役高垣俊壽氏は、社外取締役であります。

(注2) 監査役稲田康孝氏及び鶴見秀夫氏は社外監査役であります。

事業所

本社及び本社工場 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12

西尾工場 〒444-0325 愛知県西尾市楠村町南浜屋敷16番地1

衣浦工場 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地1

阿久比工場 〒470-2215 愛知県知多郡阿久比町大字矢高字西の台1番地1

北陸支店 〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地

仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告掲載方法	当社のホームページに掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	https://www.try110.com
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL (0120)782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。
単元株式数	100株

住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご覧ください。
<https://www.try110.com/>